

みなさんが安心して鉄道を利用できるように  
日々の仕事に取り組んでいます。



**朝倉和美**さん(1991年生まれ)  
静岡東高校 出身  
愛知学院大学 法学部卒業

**愛知県警察本部**

名古屋市中区三の丸 2-1-1  
<https://www.pref.aichi.jp/police/>

なるためには  
●必要資格 / 特になし  
●主な進路 / 高校卒業→大学に進学→警察官採用試験に合格  
→警察学校に入校→各警察署に配属

— 学生時代

「高校時代は吹奏楽部に所属し、トロンボーンを担当していました。吹奏楽部は文化部のため、体力は必要ないと思われがちですが、実際は体力が重要になります。そのため、厳しいトレーニングも行っていました。その時の経験が警察官になった今でも活かされていると思います。」

「大学時代について教えてください。」

「幼いころ参加したイベントで白バイに乗せてもらい、カッコいいなと憧れて警察官を目指すようになりました。警察官になるという夢を叶えるために、愛知学院大学の法学部に進学しました。採用試験対策のために受講した大学の公務員対策講座では、本番の試験さながらの雰囲気模擬テストが行われるなど、しっかりと対策を立てることができました。また、大学のキャリアセンターの方も親身にアドバイスをしてくれたので、緊張することなく採用試験に臨むことができました。」

— 仕事について

「警察官採用試験に合格後、警察学校で6か月間(高卒は10か月間)、警察官の実務に必要な法律の知識などを学びました。警察学校を卒業後は、約2年間交番勤務を経験した後、上司からの勧めもあり、高校時代のトロンボーンを経験を活かして音楽隊に所属しました。音楽隊では、年間200回を超える演奏会に参加していました。その後は中村警察署での勤務を経て、現在は鉄道警察隊で勤務しています。」



仕事内容を簡単に教えてください。

「鉄道警察隊の主な仕事は、駅構内や列車内でのスリや痴漢、置引きなどの犯罪の防止や検挙活動のほか、列車内における痴漢被害相談専用電話「ふれあいコール」にきた相談を受けて、被害者に対する防犯指導や犯人の検挙等を行うことであり、これらの対応に男女の差はほとんどありません。特に被害者が女性の場合は、女性警察官でなければならぬ現場も多く、女性の存在が欠かせない職場です。日々、様々な事案に対応しますが、性別や経験年数、階級に関係なく、警察官の代表として取り組むよう心がけています。」

— やりがい

「被害相談を受けて犯人を検挙し、そのことを被害者の方に報告をすると、『安心しました』ありがたいとございました。などの言葉をいただきます。その言葉を聞くと、警察官になってよかったと心から思います。対処する事案に1つとして同じものはなく、中には危険を伴う事案に対応する場合もありますが、どんな場面でも冷静に対処できるよう、様々な想定をしながらパトロールをしています。」

— メッセージ

「警察官を志している方は、まずは警察官採用試験に合格する必要があります。必須となる資格はありませんが、様々な経験が仕事をやる上で役に立ちます。例えば、友達との会話やバイト先で培ったコミュニケーション能力が、警察官になった際に被害者へのヒアリングなどに活かすことができます。私は、吹奏楽部の経験を音楽隊の仕事に活かすことができました。高校時代の経験は仕事に活かすことができるので、皆さんも自分が興味があることに積極的に取り組んでください！」



分  
野  
別

18歳 高校では吹奏楽部に所属、警察官を志して愛知学院大学法学部に進学。  
22歳 ゼミで少年法を専攻、警察官採用試験に合格して警察学校に入校する。  
29歳 鉄道警察隊として犯罪の予防及び検挙に当たり、鉄道利用者の安全を守る。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ！  
<http://amb100search.com>

